

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

〈第5弾〉
新潟→
福島へ

東北の子ども応援わんぱくプロジェクト

「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」も第5弾。今回は11月1日から3日まで2泊3日の日程で、14人の新潟の子どもたちが福島の相馬市を訪問し、福島の子どもたち15人を含め、合計29人の子どもたちが参加しました。

一日目には、相馬市にある「はまなす館」で陶芸教室に参加し、相馬焼作りを体験しました。陶芸の先生から基本的な作り方を教わった後、子どもたちはコーヒーカップやお皿など、思い思いのものを作っていました。連合のスタッフの人たちも数人参加して、子どもたちは一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

二日目の午前中には、「道の駅そうま」で乗馬体験と甲冑着付け体験しました。乗馬は初めてという子どもたくさんいて、「とても楽しかった」という感想がたくさん聞かれました。また、甲冑の着付けも全員が初めてで、「こんなに重いものを着て大変だ」と声を上げ、とても驚いた様子でした。午後からは、被災地の状況を学ぶために東北電力原町火力発電所を見学した後、相馬市内と南相馬市内をバスで回り、津波被害の甚大さや、復旧の道のりを目の当たりにし、理解を深めました。

最終日三日目の朝の解団式では、新潟と福島の子どもたちと連合関係者の全員で、このプロジェクトのテーマソングの「ぼくたちみんなこの地球のもちもの」を大合唱し、新潟と福島の絆を更に深めることができました。その後、新潟の子どもたちは、「野口英世記念館」と「鶴ヶ城」を訪問し、会津が生んだ偉人、そして戦国武将について学ぶことが出来ました。期間中は好天にも恵まれ、子どもたちにとってとても貴重で楽しい時間となりました。

最終の第6弾では、11月22日～24日に大阪の子どもたちが宮城を訪問します。引き続き東北の子どもたちの応援をよろしくお願いします！



3日間の主なスケジュール

- 1日目：新潟の子どもたち、新潟港から相馬へ。
相馬市「はまなす館」で相馬焼作り体験後、手作りの湯・栄荘へ。
- 2日目：相馬市「道の駅そうま」で乗馬体験と甲冑着付け体験、東北電力原町火力発電所の見学した後、相馬市と南相馬市内をバスで見学。
- 3日目：新潟の子どもたちのみ、野口英世記念館見学、鶴ヶ城見学後、バスで新潟へ。

～子どもたちの3日間～

★相馬焼陶芸教室★



陶芸教室の先生から作り方を教えてもらいました。出来上がったものでその人のキャラが分かってしまったりします。

★乗馬体験と甲冑着付け体験★



乗馬と甲冑を体験。戦国武将になった気分？

★東北電力原町火力発電所見学★



発電の仕方や発電所の仕組みを学んだほか、被災した時の様子や、どのように復旧してきたかといったことを勉強しました。

★楽しい夕食の時間★



たくさん遊んで、たくさん勉強した後はお腹ペコペコ。「いただきます！」の声を待たずにお鍋の蓋を開けちゃう子も！

★相馬市、南相馬市内訪問★



東日本大震災の爪痕を今なお残す場所を訪問、ガイドの方から、当時の状況や復興の様子について説明を受けました。

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

●連合・連帯活動局

TEL : 03-5295-0513 / FAX : 03-5295-0547

Eメール : rentai@sv.rengo-net.or.jp